

2015
Vol.21

ikeeco

“住む人が主役の家づくり”に、もっとファンを！



—キャンパスに描く“自分らしい暮らし”—

ライフスタイルから生まれる家づくり

「住まい手から選ばれる」ということ



| We Love Natural Life! | 滋賀県野洲市 | 株式会社 湖都コーポレーション |

滋賀県を拠点に今年10年目を迎える湖都コーポレーションは、滋賀県内の注文住宅では3本の指に入るトップビルダーとしてご活躍されています。カルクウォールを内装の仕上げとして標準採用頂き、漆喰の質感を活かしてコーディネートされたインテリアがとっても魅力的。時代の流れを敏感に感じ取り、家づくりへ取り込んでいくスピードは単に「流行のデザインを追いかける」という事ではなさそうです。今回は、インテリアの素材として必要なこと、家づくりの考え方について原田社長にお話をいただきました。



代表 原田 潤一

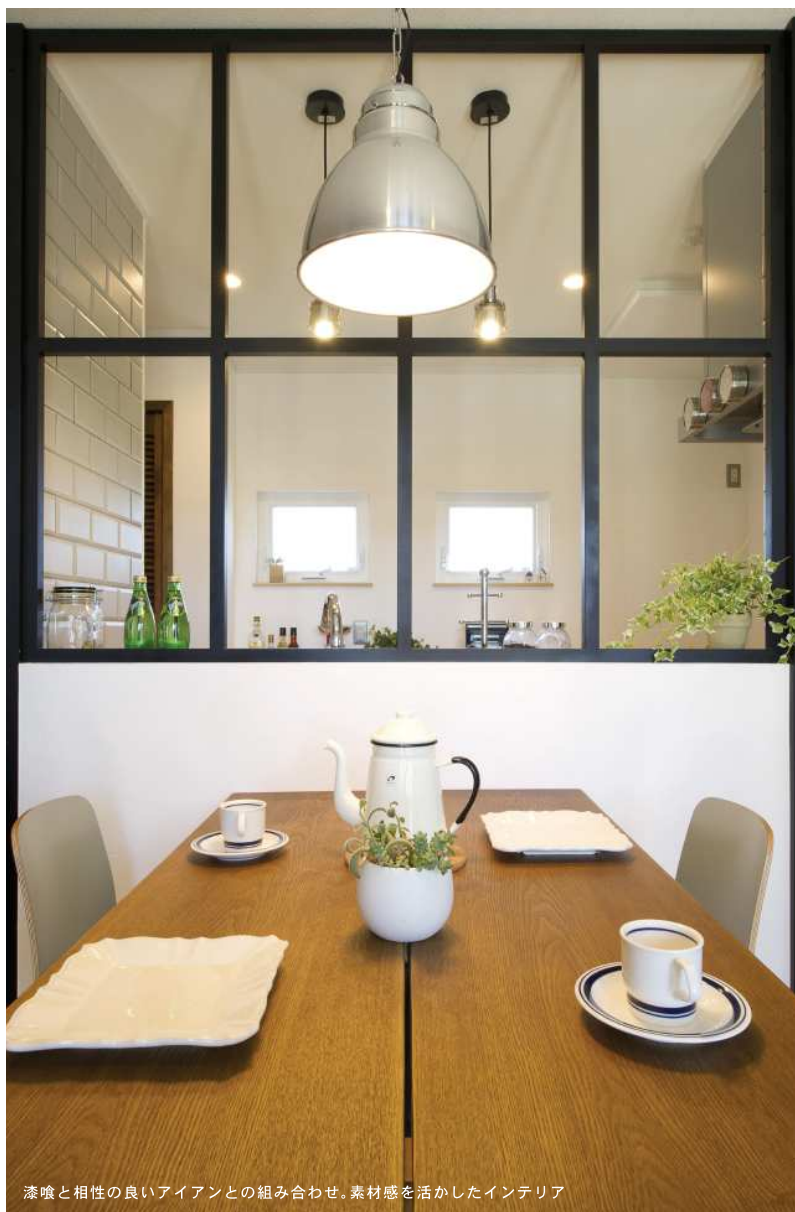


インテリアの質を高める

「建築的なアプローチで部屋を6面体(壁の4面・床・天井)として考えると、面数の多い壁の質やデザイン性を高めることが一番重要なところ。一番目に付く壁がチープだといくら良い建具や家具を入れても部屋全体は良くなりません。私にとってカルクウォール＝かわいい・ナチュラルスタイルというだけではなく、漆喰は非常に汎用性の高い素材で、ナチュラルからシンプルそして、ハードに仕上げる事ができる素材だと考えています。実際にうちに来られるお客様もナチュラルから少しハードな感じに変わりつつあります。カルクウォールは、そんなお客様の嗜好にも柔軟に応えられる素材でもあります。」

「当然部屋の中に居時間が長くなるので室内の質・環境面を最優先に考えています。湖都コーポレーションではお客様の予算と要望のバランスを考えて、カルクウォールは内装のみの標準採用としています。カルクウォールを選んでいる理由は『知りうる限りで一番いいと思うものをお客様に提供する。』という企業の考え方でもあります。機能面はもとよりスタイルや質感、メンテナンス性を考えて辿り着いたのがカルクウォールです。」





漆喰と相性の良いアイアンとの組み合わせ。素材感を活かしたインテリア

インテリアのデザインを高める —

「カルクウォールは本物の素材、天然の素材と組み合わせることが大事です。たとえば、無垢材やアイアン、石、ブロックなんかも相性がいい。カルクウォールの壁に新建材のドアとか窓台がシート張りだったりするとどこか違和感を感じる。光の反射の具合や質感、それは五感で感じるところでもあるし、トータル的なコーディネートが出来ていないという事です。見学に来られるお客様が一番それを肌で感じ、分かっていると思いますよ。」



ブロックとアイアン、インダストリアルな照明で少しハードな印象に



無垢の木と漆喰でグリーンの映えるナチュラルなインテリア

「建築家とは、家を性能的に建てることだけではなく、空間のバランス、デザインをより良くしていく仕事でもあります。天井の高さを変えるとか構造的なアプローチとはまた違ったところで、色彩や質感、スタイルなんかは建築の基礎や法規だけを覚える学生時代には学ばないことです。しかし、これからの時代の家づくりを考えると大事な要素でもあります。」

「家具や建具が入りインテリアのトータルコーディネート进行を考えると、塗り壁が質感的にも一番映える背景です。まさに絵を描くキャンパスで、いくらいい絵を描いても普通の紙ではその価値が失われてしまいますよね。壁の質が高まると床も天井も本物にしないとイケなくなる。最近では天井の板張り仕上げの要望も増えてきています。」



スイス漆喰の光の反射でやわらかな日差しを室内に取り入れる



天井も板張りにすることで、インテリアの雰囲気が一層引き締まる

お客様のライフスタイルを追求する

「湖都コーポレーションの家づくりは、スタイル売りをしないこと。『うちの家のスタイル（デザイン）はコレです。』というのではなく、快適に永く暮らして頂くためのライフスタイルからつくりあげる注文住宅です。それには、お客様へのヒアリングの質と量が最も大切です。『何部屋必要ですか？』『何畳あればいいですか？』という質問は一切せず、どんな暮らし方をしている、新しい家ではどんな暮らし方を望まれているのか。一つひとつの要望をお聞きしています。ご夫婦で来られた際も設計士1人が対応するのではなく3・4人で話を伺い、社内での意見交換やプランコンペも行っています。そして、お客様の本当の暮らし方がわからない間にはプラン提案は絶対にしないように心掛けています。」

「もう一つの自社の強みは、施工力と再現能力のある技術力の高さです。いくら新しいデザインが頭にあって作り手自身がそのイメージを持っていなければより良いものはいくらもつくれません。時代の流れに敏感であるためにも、スタイルとして参考になるような場所には積極的に見学に行き、インテリア誌などトレンドが分かる雑誌で時代の流れを読む。これは設計だけではなくスタッフ全員が意識していることです。」



選んで頂いたことへの責任感

「『建築業とは“売る”ことが仕事ではなく、“つくる”ことが仕事です。決して売ることが目的ではない。』とスタッフには伝えてあります。そして、会社としてどうすれば『選んで貰えるか。』を考えると、自分たちが自信をもって、良いモノづくりをするという事になります。もちろん根底には真摯さや真面目さという部分もありますが、本当の意味でライフスタイルからのプラン提案ができ、家づくりのプロセスなど、私たちの家づくりの考え方がきちんと伝われば選んで頂けると信じています。」

「『選んで頂いた』責任感は、メンテナンスやアフターサービスにも表れています。家を建てる時よりも建ててからの方が長いお付き合いになっていきますので、アフターサービスは重要な仕事だと考えます。」



時代の流れを詠む探究心

「時代の流れは非常に早いので、常により良いものは何か、時代の流れはどうなっているのかを意識する。これからは、建てるだけの建築業ではいけません。高額の商品を扱っているのだから究極のサービス業を目指さないといけない。建築業は転換期を迎えていると思います。家を建てる時代によって選ぶ基準が全く違ってくるし、そういう人たちの感度をどれだけ受け止めて共感できるか。世間が何を求めているか。

もちろんライフスタイルも大きく変わってきています。そのために、世間の変化に合わせたショールームづくりを考えていて、長くて3年のサイクルでリニューアルを行っています。常に最新のもの、時代の流れに合うものをお客様に提案できるように心掛けています。」

おもてなしの空間

「このショールームは、リアルに家を見てもらう空間ではなく、あくまで“おもてなしの空間”としての役割を担っています。いくら口で『カッコいいもの、デザイン性の高い家を建てるができます！』と言っても信用されませんよね。ここはリアルな家とはかけ離れています。こういうものがあると『自分たちの家を任せて大丈夫かな。』と思ってもらえる安心感を与える事ができますし、イメージを膨らませて頂くこともできます。それに、お客様の人生において一番高価な買い物でもある住宅、3,000万～4,000万の買い物をして頂くお客様をおもてなしする部屋でもあります。1泊3万円のホテルでさえ、広々としたエントランスで迎えられ、ホールからチェックインまで、それらすべてにおもてなしの心が感じられますよね。お客様との契約や大事なお話をさせていただく時はこの空間でおもてなしをする。これが私たちの礼儀だと考えています。」



ラグジュアリーなホテルの
チェックインカウンターをイメージ



お客さまにとって大切な時間を共有する
「おもてなしの空間」



旧商工会館をリノベーション
した新しいショールーム

滋賀県内にある3つのショールームと、2つの常設モデルハウスでは家本来のリアルさと、理想や夢を膨らませる空間としての役割を担っています。自然素材の空気感や質感、こだわりのインテリアでリアルな家づくりが体感できるモデルハウスと、時代の流れに合わせて自分らしい暮らし方を提案するショールーム。これらすべてに“お客様の暮らしのために”を感じられるおもてなし空間は、「顧客満足」を真摯に受け止めながら、さらなる飛躍を目指す湖都コーポレーションの企業姿勢そのものです。

そんな湖都コーポレーションが取り組む
ミッションと、将来へのビジョンとは —

Mission / ミッション

滋賀県の「住」文化をリードする。

Vision / ビジョン

単なる建設請負業ではなく
「究極のサービス業」と考え、
新しい工務店像を目指す。

代表取締役 原田 潤一




KoTo corp.
HOUSE & CRAFT

株式会社湖都コーポレーション

〒520-2333 滋賀県彦根市栄5-5

TEL 077-587-2647

<http://www.koto-cp.com/>



掲載雑誌紹介

Come home! Vol.40

(主婦と生活社)

Come home! 創刊 10周年を迎える今回も、ナチュラルな暮らしを連載中！
ナチュラルスタイルの外観にとっても良く似合うガーデニングにも初挑戦！
可愛い新居での快適な暮らしが紹介されています。

【設計・施工】 昭和住宅
兵庫県加古川市平岡町新在家117
URL <http://fika.me/>



ライフスタイル誌
5月20日
発売



&home Vol.75

(エフジー武蔵)

東京 築地ショールームが
&homeに紹介されました！

インテリア誌
4月15日
発売

ナチュラルな暮らしに
欠かせない自然素材で
安心・安全のエコロジ
ー建材スライス漆喰・リボ
ス自然塗料・オガファ
ー・壁紙の仕上がりを
是非ご覧ください。



【築地ショールーム】
東京都中央区築地7-10-2 築地小川ビル4F
営業時間 9:00~18:00

I'm home
No.75

(商店建築)

インテリア誌
5月16日
発売

WALL DESIGN PRODUCTS



ライフスタイル誌
6月11日
発売

チルチンびと
No.84 (風土社)

夏涼しく 冬暖かい 木の家

ライフスタイル誌
4月13日
発売

チルチンびと 福岡
(風土社)

福岡で建てる 本物の木の家



Event Report

朝日住まいづくりフェア2015が
開催されました！

日本最大規模を誇る住宅総合展示会「朝日住まいづくりフェア2015」が東京ビッグサイトで開催されました。毎年、家づくりの参考にと、これから家を建てられる方、リフォームを予定されている方はもちろん、最新の設備の情報を集めたいとたくさんの方が来場されました。イケダコーポレーションは特別会場 健康住宅パビリオンに出展。スイス漆喰カルクウォール、オガファーザー、リボスを使って『見て・触れて・体感』できるスペースでたくさんの方にお越し頂きましたよ。



カルクウォールはスタッフ
自ら仕上げましたよ



自然素材のエコロジー建材に
皆さん興味津々

オガファーザー・NEW&デュブロンで
仕上げるワンポイント

朝日住まいづくりフェアのブースのワンポイントとして、
オガファーザー&デュブロンで仕上げた壁がこちら。
マスキングテープを斜めにクロスさせ、出来たパターンに
合わせて配色しています。いかがですか？
マスキングのパターンも自由自在！
是非、お部屋のワンポイントに。



パターンに合わせて配色を。
ここはセンスの見せどころ！



お部屋のワンポイントにオススメです！

オススメ

施工例：オガファーザー・NEW スモール、
リボス デュブロン(No.400)、顔料 ウラ
(No.424) オリーブ/グラスグリーン

第19回 ドイツ・スイス
エコバウ建築ツアー
2015

持続可能な暮らしと
ドイツ・スイスの
最新エコロジー建築の旅

2015
9/13
sun



2015
9/21
mon

9日間の旅

ドイツでは、次世代省エネ基準の先をゆく省エネ住宅 パッシブハウスの義務化が始まり、各先進国で進むCO2削減の重要な政策の要として、当然日本の建築でもスタンダードとなることが予測されます。今年の4月から本格的にスタートを切った省エネ基準の改定や、2020年の新築住宅 省エネ義務化を見据えた動きはこれから益々本格化し、日本の家づくりへの考え方が大きな転換期を迎えているのではないのでしょうか。

日本の家づくりのあるべき姿とは？
後世に残すべき建築のあり方とは？
持続可能で自然と寄り添う家づくりのあり方を、旅を共にする仲間達と一緒に考えを深めてみませんか？



この情報誌に関するお問い合わせ
資料・サンプル請求は

株式会社
iskeda イケダコーポレーション

0120-544-453

仙台・東京・名古屋・大阪・福岡

〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4丁目8-28 FJビル3F
TEL.06-6452-9377 FAX.06-6452-9378

〒104-0045 東京都中央区築地7丁目10-2 築地小川ビル4F
TEL.03-3544-4453 FAX.03-3544-4450

<http://www.iskcorp.com>
E-mail info@iskcorp.com

